

学生の皆さん

帝塚山学院大学
保健室

感染症対策ガイドライン

飛沫感染および接触感染を防ぐためには、いつも2つの視点で考えましょう。

- ① 自分が感染しない ② 他の人に感染させない

「これだけやれば大丈夫！」という基準はありません。健康を守る新しい習慣を身につけて1人

ひとりが感染リスクを最小限に抑える行動をとり、「楽しい学校生活」を送りましょう。

登校する前に

- ・ 毎日検温をして健康チェックシートに記録する(ポータル：衛生委員会資料)
- ・ 高熱、倦怠感、息苦しさ等症状がある場合は登校せず、早急に所轄の保健所に連絡して指示を受けてください。また、発熱や風邪の症状が認められる場合も登校を控え自宅で休養してください。

登校してきたら



- ・ 必ず、サーモグラフィーで体温を確認する（泉C：本館玄関ホール 狭山C：E棟ロビー）
 - ① 目印に沿って距離（概ね2m（最低1m））を取って並ぶ → ② 画面に顔を向ける
 - ③ 1～3秒で測定
 - ④ → 問題なければ通過してOK
 - 発熱チェック(+) → 学生自身で保健室に電話連絡
 - ・ 学内で発熱、倦怠感、息苦しさなど症状が出た場合も保健室に電話連絡
- ※当面、入構管理を目的のために、サーモグラフィー横の出講名簿に必要事項を記入してください。

登校したら

3つの基本を守る

- ◇ 手指の消毒（定期的な石鹸での手洗い、または各フロアに設置している消毒剤での手指衛生の励行）
 - ※普段から顔や目を手で触らないことも大切です。
 - ◇ マスクの着用（飲食時以外は常にマスクを装着）
 - ◇ 人と人との距離をとる（概ね2m（最低1m）を保ち密着しない）
- ※エレベータの使用は原則禁止（ただし、身体的な事情がある場合は3名までとし会話は禁止）

授業の教室では

- ・授業前後、不特定多数が接するものに触れた場合には必ず石鹸で手を洗う、または消毒剤を使用する
 - ・授業前、教室備え付けペーパータオルに消毒剤を吹き付け、着席する椅子・机面を拭く
 - ※消毒剤・ペーパータオルが残り少なくなったら保健室へ連絡
 - ・室内換気は可能であれば2方向の窓を授業の途中と休憩時間に10分程開放する
- ※以上について、詳細は掲示物で確認してください。

食事をする時

- ・食堂で券売機に並ぶ時、食膳受け取り時も距離をとって待つ（概ね2m（最低1m）を保ち密着しない）
 - ・座席は予め対面を避けるように設置された椅子に着席し、勝手に椅子を移動させない
 - ・マスクをはずした状態で近距離の会話は避ける
- ※昼休み、感染症拡大防止に関するアナウンス（放送）を行うので注意してお聴きください。

★心配なこと等相談があれば保健室に連絡してください

泉ヶ丘保健室直通：072 - 296 - 1334 → 内線 381

狭山保健室直通：072 - 365 - 8276 → 内線 106

（泉ヶ丘保健室は現在、体育館1階救急管理室に移転しています）